



柿小だより

令和 2 年 10 月 柿崎小学校発行

「秋の一日」実施!

全校遠足「秋の一日」を、森に囲まれた静かな雰囲気の大潟水と森公園で行いました。海っ子班で行動しながら、ウォークラリーを楽しみました。学年クイズや大潟水と森公園にちなんだ問題を解いたり、協力してアドベンチャーに挑戦したりしました。

低学年に声をかけながら歩く高学年、手をつないで一緒に歩く児童、様々なほほえましい交流が多く見られました。

活動後の振り返り活動「ふわふわタイム」では、あたたかい言葉がたくさん聞かれました。より一層海っ子班のつながりが深まった、笑顔いっぱいの日になりました。

今年度もたくさんの皆様からボランティアへのお申し出をいただき、安全で、充実した活動にすることができました。ご協力いただいたボランティアの皆様、本当にありがとうございました。次年度も、多くの皆様のご参加をお待ちしております。



3年生 スマイル学年

総合的な学習「お宝発見！柿崎・上越」の活動紹介

3年生は、子どもたちの思いを大切にしながら、様々な活動を進めています。

1学期は、社会の学習ともかかわらせながら、柿崎区を歩き、柿崎のよさを見付けてきました。

【柿崎区町探検】

柿崎小学校の周辺を歩きながら、町の特徴を調べました。公園が多いことやお店がたくさんあること、自然が多いことなど様々な特徴を見付け、さらに町に詳しくなりました。



【お引上げ】

浄福寺の住職さんにお話を聞き、お引上げの由来や親鸞聖人について学びました。子どもたちが大好きなお引き上げの昔の話を聞いて、今との違いに驚いていました。



【一の日市】

町探検で興味をもった一の日市。お店の人にインタビューをして市について調べたり、買い物を楽しんだりして、市の魅力に気付くことができました。



【柿崎中央海水浴場】

「柿崎のよいところは？」と聞いて最初に出てきたのは、「海」でした。実際に海に行くと、ゴミがたくさんあることに気付き、何かできないかと6年生と一緒にゴミ拾いを行いました。



2学期は、柿崎海岸のよさを伝える活動を行ったり、もっと視野を広げて上越市のよさを考えたりして、活動していきます。

11月は柿小人権権強調月間！



じんげん
人権ってなんだろう？

1948年に国連総会が世界人権宣言を採択した12月10日を、世界人権デーと呼んでいます。この時期にあわせ県内外では、様々なイベントが行われています。

柿崎小学校では、11月を人権強調月間にしました。

だれでも、生まれながらにしてもっている、「幸せに生きる」権利のことです。

あなたも、あなたの周りにもいる人も「幸せに生きる」ためにどうしたらいいのか、みんなで考えましょう。



<人権教育を通じて育てたい資質・能力>

- ①互いの相違を認め、受容する力 (多様性、自己肯定感)
- ②他者の痛みを共感的に受容する力 (想像力・感受性)
- ③相手のことを考えながら聞いたり、自分の考えを伝えたりする力 (コミュニケーション、自己開示)
- ④他者と対等で豊かな関係を築く力 (平等、なかまづくり)
- ⑤偏見、差別を見極める力 (正義、自由、権利)
- ⑥対立的な問題を暴力でなく、双方にとってプラスになる解決をする力 (非暴力、相互依存性)
- ⑦複数の情報源から情報を収集・吟味・分析し、公平な結論を導く力 (公平、権利、義務、責任)

私たち大人も、身に付ける必要のある資質・能力です。

子どもの人権感覚は、身近な大人によって磨かれます



大人の人権感覚が子どもより優れているとは限りません。人権学習で感じた子どもの気づきから、私たち大人(学校・家庭・地域)が学ぶことで自分の人権感覚を改めて問い直すことができます。

私たち大人の人権感覚を問い直しましょう。



トラブルがあった際、「どうしたの」と双方から話を聞き、公平な立場で自分の考えを話すことで、子どもたちは誰からも大切にされていることを実感します。



自分の人権を守り、他者の人権を守ろうとする態度が育まれます

※学校、各学年での取組は、後日、便りにてお知らせします。

令和2年度 1 学期学校評価の結果についてお知らせします

児童、保護者、職員アンケートを行い、1 学期の教育活動について、下記のよう
な成果や課題が見られました。今後とも、子どもたちの健やかな成長に向けて、
保護者、地域の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

**【評価は、3 段階評価。評価が規準に達していたものがAです。○は成果、△は
課題、※は今後の方策です。】**

《あたたかくかかわる子》～自尊感情・思いやりの心の育成～

めざす成果1 地域、家庭、校内、来賓、友達にいつでもどこでも、明るい
あいさつ・返事ができる児童が 90%以上になる。
児童評価：92.5% 保護者評価：74% 職員評価：52.6%

○生活委員会やさわやかあいさつ運動の的確な実施により、あいさつしやすい
雰囲気作りができています。

△相手に伝わる大きさの声を出すことに課題があります。

※「あいさつ 1000 人大運動」の事前指導で伝わるあいさつのポイントを確認し
ました。各学級でのあいさつ運動の取組みを行いながら、いつでも、誰にで
もあいさつをする児童を育てていきます。

めざす成果2 気持ちを思いやった温かい言葉がけができる児童が 90%以上
になる。
児童評価：95% 保護者評価：78% 職員評価：78.9%

○高学年を中心に、さんづけや丁寧な言葉遣いをすることが広がり、暖かな雰
囲気が学校に広がっています。生活目標について代表委員会で話し合い、全校で
取り組む体制ができ、学級で意識して取り組んでいる成果が表れています。

△休み時間や放課後になるとちくちく言葉や呼び捨てになる傾向があります。

※トラブル発生時に人権教育の視点を大事にしながら迅速・丁寧に対処してい
きます。生活朝会等で、「あたたかいメッセージ」の習得を図り、人間関係づ
くりの能力の育成を図ります。

めざす成果3 学級活動や縦割り班活動で友達の役に立てたと感じる児童
が 90%以上になる。
児童評価：96.7% 職員評価：100%

○日常の清掃の場面ではリーダーが上手に下級生と接している姿が見られます。
どの学年も 90%以上で、職員の評価は 100%でした。学級や縦割り班の活動
が充実していたことが分かります。

※学級や縦割り班活動のイベントでは、役割についての事前指導や事後の振り
返しを行い、温かい関係づくりが進むように今後も努めていきます。

《考えを広げ、深める子》 ～思考力・表現力の育成～

めざす成果1 自分の思いや考えを相手に分かりやすく伝えることができる
児童が 85%以上になる。

B

児童評価：95.8% 職員評価：89.5%

○昨年度末より児童の評価、職員の評価共に上昇しました。聞き方の指導を行い、自分の考えを書いたり、伝え合ったりする授業になるように授業改善が進められている成果が表れています。

※今後一層、どの子にも分かりやすい教室環境づくりを行います。また、「教える」場面と「深める」場面を明確にした学習過程（単元デザイン）の工夫を図っていきます。

めざす成果2 基本的な学習内容を、身に付けている児童を 85%以上に
し、NRT の結果等を向上させる。

B

NRT 学力調査：1月実施

・本年度1月に行われる予定だったNRT検査は中止となり、令和3年度より4月に行うことになりました。

・これまでの学習調査等の結果から国語の「読む」「書く」領域に課題がある傾向があることが分かっています。

※「読む」「書く」活動を今後とも重視します。「知識・技能」の確実な習得を行い、その後の対話学習を充実させ、深い学びにつなげていきます。

めざす成果3 家庭学習強調週間中だけでなく、日常的に家庭学習の時間の
充実を図る児童が 85%以上になる。

B

児童評価：87.4% 保護者評価：77.6% 職員評価：78.9%

○家庭学習に取り組む児童が85%を超えています。保護者・職員の評価との差はあるものの「やるべきことはやる」という児童の意識は高まっていることが分かります。

※「家庭学習強調週間カード」の活用方法の改善を図っていきます。具体的には以下のことに取り組みます。

- ・「学習内容」を記載し、取組を振り返ります。
- ・個々の苦手を把握し、個別指導に生かします。
- ・学年だよりで取組の様子をフィードバックします。



《丈夫な体をつくる子》 ～たくましい体の育成～

めざす成果1 楽しく運動できている児童が93%以上になる。

A

児童評価：95.8% 職員評価：100%

- グラウンドのサッカーゴールを整備、一輪車置き場を整備しました。外で遊ぶことのできる環境が整い、遊ぶ児童が増えました。築山、吊り輪、肋木など、外の固定遊具で遊ぶ児童が多く、楽しく運動に取り組んでいる姿があります。
- △高学年を中心に、体育館で遊ぶ児童が多くありません。遊び道具が十分でないことが理由として考えられます。
- ※今後一層、体育館での運動遊びを充実させるため、環境整備に取り組んでいきます。

めざす成果2 できる運動が増えた児童が93%以上になる。

A

児童評価：95.4% 職員評価：88.9%

- 各学年の体育の授業で、学習カードや場の工夫を行うことで、達成感を感じることでできた児童が多くいました。
- ※引き続き、授業改善を行うとともに、学年間で学習カードなどの共有を行っていきます。

めざす成果3 保護者と決めたメディアのめあてを守ることができた児童が90%以上になる。

B

児童評価：90.8% 職員評価：55.6%

- 7月に元気アップ週間を設けて、メディアとの関わりを見直す機会を設けました。多くの子どもが、めあてに向けて取り組むことができました。
- △学校保健委員会は中止となりました。元気アップ週間後に元気アップだよりを発行しましたが、たよりだけでは情報発信は十分ではありませんでした。
- ※2学期も、長期休業前の時期に元気アップ週間を行います。3学期には学校保健委員会を行い、保護者や地域に対して直接情報発信する機会をもちます。

